

「平和への思い」発信・交流・継承事業 実施概要



①事業の背景と目的

沖縄県民は74年前、沖縄戦という悲惨な戦争を経験し、多くの住民が亡くなりました。悲しい沖縄戦の経験を次世代に伝えることは、若者の平和を愛する心を育み、二度と悲劇を繰り返さないためにも大切なことです。

しかし、戦争を経験した人々の高齢化により、実際の沖縄戦の様子を伝えることが難しくなっています。また、近年のグローバル化により近隣諸国との関わり的重要性が高まっています。友好関係を維持し、アジア全体の平和と発展を目指す上で、お互いの国の歴史を正しく知り、相互理解を深めることも必要になってくるでしょう。

こうした状況を踏まえ、本事業は沖縄とアジア諸国の若者に平和について学び話し合う機会を提供し、将来平和構築や平和教育に携わる人材の育成や、平和構築のネットワークづくりを目指すものです。



②事業の内容

沖縄・韓国・台湾・ベトナム・カンボジアの大学生各5名、計25名を対象に、沖縄で合同宿泊研修を行います。

(研修前に各国で、それぞれあらかじめ与えられたテーマに関する事前学習を実施)

参加者は講義、視察、意見交換を通して沖縄と各国の歴史や戦争を多角的な視点から学び、相互理解を深めます。また、今後の平和発信のあり方・方法を考え、研修最終日にシンポジウムを開催し、研修の成果発表を行います。

事前学習(1日～2日) 各地域にて

参加者は宿泊研修前に各国で指定されたテーマに関してそれぞれの地域で事前学習を行います。

地域・国	事前学習テーマ
沖縄	沖縄戦
韓国	済州島 四・三事件
台湾	二・二八事件
ベトナム	ベトナム戦争
カンボジア	ポル・ポト政権による虐殺

沖縄合同宿泊研修 (9泊10日)

期間：2019年10月11日(金)～20日(土)

- ・沖縄と各国の大学生が宿泊を共にし、沖縄および各国の歴史、戦争、課題等について理解を深めます。
- ・研修は日本語で行われますが、各国に一名ずつ通訳を配置します。

【シンポジウム】
研修最終日に、研修の成果を発表します。

経費
全日程の宿泊費、食費、保険、交通費は主催者が負担します。